

鳥獣被害対策と森林整備の促進



日本遺産 究極の雪国 とおかまち
スノウリッチ・ストーリーズ

【里地里山復活事業】

ESG活動の促進

Environment (環境) / Social (社会) / Governance (企業統治)

E : 温室効果ガス削減

E : 生物多様性の保全

E : 再生可能エネルギーの活用

E : 自然災害対策

S : 雇用創出

背景

- ◆ 里山近くの人工林や雑木林は、高齢化等による担い手不足から管理が行き届かず、薪炭林の利用も減少していることから、過密化と藪化が進んでいます。
- ◆ 近年は、人の生命や身体に危害を及ぼす可能性のあるクマやイノシシが、市街地や農村地域の日常生活圏で多く出没しています。

課題

- ◆ 過密化と藪化が進んだ森林は野生鳥獣が潜みやすく、特に田畑への被害が深刻化しています。
- ◆ また、クマやイノシシが住宅地に出没した場合、住民の安全を第一に確保する必要があります。

目的

- ◆ 防災の観点からも重要な森林整備を推進し、野生鳥獣に負けない安定した営農を継続することで、農地や里山の復活を目指します。
- ◆ 田畑を守るためには電気柵などの鳥獣被害対策が必要です。加えて、クマやイノシシが住宅地に出没しないための対策、出没した場合に対処する体制(猟友会との連携や捕獲用備品の充実)を強化します。



手入れされていない農地と里山



人と動物との緩衝帯がない

事業内容

野生鳥獣に負けない安定した営農を継続し、農地や里山の復活を図ります。

- ◆ 鳥獣被害対策に係る支援（農作物を守るための電気柵の設置など）
- ◆ 下刈り、枝打ち、除間伐
- ◆ 植林
- ◆ 林道、作業道の整備、維持管理

クマやイノシシによる人身被害の発生を未然に防止します。

- ◆ 猟友会の出動、捕獲、緊急銃猟の実施
- ◆ 猟友会の担い手確保、捕獲用備品の充実



間伐整備された森林

寄附金の活用方法

- ◆ いただいたご寄附は、上記事業に活用し、主に「鳥獣被害対策」や「森林の間伐整備」の促進に活用いたします。

企業様に期待すること

- ◆ 企業版ふるさと納税によるご支援
- ◆ 間伐等の管理の行き届いていない山・森林の整備への協賛

企業様のメリット

1. SDGs・社会貢献企業としてのPR（**企業イメージの向上**）
2. 企業の「**ESGスコア**」の獲得（見込み）
3. 十日町市公式ホームページでのご紹介
4. 市長からの感謝状（郵送）
5. 企業版ふるさと納税を活用した事業で、**税負担が軽減**
6. ESG活動レポートを交付

最終目標

「**雪**と生きる。**大地**に遊ぶ。**未来**を創造するまち とおかまち」の**実現**を目指します

担当課・連絡先

新潟県十日町市 産業観光部 農林課 林業振興係

◆ Tel : 025-757-9917 (係直通) ◆ FAX : 025-752-4635

◆ mail : t-norin@city.tokamachi.lg.jp

